

市内の魅力を見て歩いて再発見!

かわちながの
歩っとスポット
KAWACHINAGANO
HOT SPOT

8

「楠木正成」ゆかりのコース

正成が多聞丸と呼ばれた幼少期に
学問を身につけたと伝わる観心寺を訪れ
晩秋の紅葉を楽しんでみませんか

DATA CHECK

コース距離 約4.9km

所要時間 約90分

消費カロリー 約240kcal

※消費カロリーは体重
60kgの人を目安に計算しています。

1 観心寺

昭和9年に国の史跡に指定された観心寺は、楠木正成が学問を学んだ寺と伝えられており、南朝の後村上天皇が正平14年(1359)に行在所とし政務を執った寺としても知られています。境内の金堂は南北朝期の建物で、昭和27年に国宝に指定されました。また、室町時代の建築である鎮守社の訶梨帝母天堂、正成が建築を指揮したという寺伝が残る建掛塔、子院(注1)である榎本院の書院はいずれも国指定重要文化財となっています。ほかにも正成の首塚、当時のものではないがその学問所と伝わる中院、後村上天皇陵など南朝ゆかりの構造物・建造物が数多く残されています。注1:大規模寺院に附属する寺院 ▶午前9時~午後5時 ▶入山料大人300円、小中学生100円



国宝の金堂(左)と今年28年ぶりに葺き替えられる建掛塔(右)

千早口駅からスタート。線路沿いの田園をってから美加の台に向かう坂を上ると岩湧山の眺望が広がります。住宅地の一角を抜けた後、延命寺までの細い道は山奥の溪流に似たようです。延命寺は市内有数の美しい紅葉で知られ、時間をかけて鑑賞したい名所です。観心寺では楠公ゆかりのスポットを訪れながら、美しい紅葉を楽しめます。

ゴール	2.2 km	1.0 km	延命寺口バス停	1.7 km	スタート
観心寺	42分	延命寺	17分	延命寺口バス停	32分



楠木正成像 / 観心寺蔵

楠木正成

楠木正成は後醍醐天皇に仕えた南朝の代表的な武将です。奇策を用い鎌倉幕府軍を翻弄した千早城・赤坂城の籠城戦は太平記によって語り継がれました。建武3年(1336)に湊川の合戦で足利尊氏に破れ自刃したと伝えられています。